

## TOTOMO は鎌倉市図書館開館百周年とどうかかわってきたのか？

図書館とともだち・鎌倉  
阿曾千代子

はじめに

1923（明治44）年に開館した鎌倉市図書館は、昨年7月20日、創立百周年を迎えました。図書館友の会である「図書館とともだち・鎌倉」（愛称TOTOMO）がどのようにこの記念日に備え、取り組んできたのか。（1）市民提案協働事業（2）百周年記念事業（3）図書館振興基金条例制定、という3つの項目を軸にご報告します。

（2）百周年記念事業

（資料）百年史、グラフ版、会報146、和田さん報告、復刻絵葉書集、絵葉書でみる鎌倉

事業の始まりは一職員の図書館百周年への強いこだわり

時系列でのTOTOMOの動き

市民と職員による手づくりの『百年史』『グラフ版』『復刻絵葉書集』『写真で見る鎌倉』制作  
企画起案、調査、執筆、市長交代、迷走する会議、遅れる作業

記念イベント

プレイベント 協働事業 記念映画会

本イベント 表彰状&感謝状授与、文化庁長官&国会図書館長講演依頼、記念展示協力など  
百年史関連資料の整理とデジタル化事業

（3）図書館振興基金条例制定

（資料）会報添付資料、文教常任委員会議事録、寄付よびかけパンフレット&振込用紙

条例制定前後の動き

図書館振興基金条例制定にむけての提案 TOTOMO 内討議 図書館へ原課からの提案を  
要望 議員へ議員提案を要望 市議会への陳情書提出を検討 教育長との面談  
条例化へ向けて生涯学習部長を筆頭に始動 条例案提出（9月議会） 条例内容について市  
議会議員へロビー活動 附帯意見を付された条例が制定 附帯意見にそった運用基準策定  
への参画と意見書提出 運用基準案提出と了承（12月議会） 条例改正への動き  
寄付を集めるということ

おわりに

友の会として図書館百周年を図書館職員とタッグを組んで実施できたことの喜びと誇りを実感。その一方で、常に市上層部から圧力がある指定管理者制度等民営化の動きへの対策として、協働事業や記念事業、図書館振興基金条例策定は有効だった。

今後も理念に基づいた友の会活動を可能な限り継続する。

本年度の目標としては、職員とともにこれからの図書館サービス計画や子ども読書活動推進計画の策定に取り組み、鎌倉市図書館の長期ビジョンを示すこと。キーワードは今まで同様、連携と継続。

連携（会員、図書館、鎌倉市民、教育委員会、行政、図書館各団体・個人）

継続（定年のないのが市民の強み。無理なく、楽しく、未永く、あきらめないで活動を続ける）

図書館サポートフォーラムからいただいた表彰にふさわしい活動ができるように、を心がけつつ。